

<資料提供>
令和元年9月21日(土)
生活環境部 自然環境課
(内線 4260 外線 225-1475)
いしかわ動物園
(外線 0761-51-8501)

トキ里山館で公開中のトキの死亡について

今月14日(土)に、左脚の大腿骨を骨折したことにより療養中であったトキ里山館のIペアのメス(16歳)について、本日21日(土)11時頃、死亡を確認した。

1 死亡の経緯

- ・先週14日(土)、トキ里山館公開ケージ内で、止まり木から飛翔し、着地した際、左脚大腿骨を骨折(全治1か月程度)
- ・同日、手術を実施(歩行できるようになるまでトキ里山館のバックヤードにて療養していた。)
- ・手術後、強制給餌と補液を続けてきたものの、4日前から徐々に餌を受け付けなくなり、衰弱
- ・21日(土)11時頃に死亡を確認
- ・死亡後、解剖を行ったものの死因は特定できなかった。

2 これまでの実績

- ・死亡した個体は、いしかわ動物園でトキの分散飼育を開始した平成22年に佐渡から移送され飼育していたIペアのメスで、これまでの10年間で31羽を繁殖し、トキの野生復帰に貢献した。
- ・平成28年からは、本州では初めてのトキ公開展示施設「トキ里山館」において、公開展示され、県民に親しまれていた。